

平成25年度研究調査報告

- 1 修学旅行の実施状況調査
- 2 修学旅行の課題調査

『学びの集大成を図る修学旅行』
の取り組みについて

～関東・東海・近畿 地方集計比較～

【感性をはぐくむ修学旅行】

平成26年3月

公益財団法人全国修学旅行研究協会

目 次

I	調査研究のねらい	1
II	調査状況	2
	1 調査の対象	
	2 調査の時期	
	3 調査内容	
	4 回答状況	
III	実施概況	3
	1 実施時期	3
	2 実施日数	
	3 実施方面(22年度～25年度)	4
	4 訪問地(県)	
	5 地区別旅行費用	7
	6 県別体験活動費用	
	7 方面別費用平均	9
	8 方面別体験費用平均 (参考) 方面別旅行費用	
IV	修学旅行での体験学習について	11
	1 体験学習のを実施について	11
	2 体験学習の内容について 『紹介したい体験』	
V	「学びの集大成を図る修学旅行」の取り組みについて	14
	1 修学旅行を企画する上で最も重視したものは	14
	2 事前・事後指導(学習)について	14
	(1) 事前学習をどのように行ったか	
	(2) 事前学習の時間数	15
	(3) 事後学習はどのように行ったか	16
	(4) 事後学習の時間数	16
	(5) 今後の課題は何ですか	20
	3 被災地復興への支援について	22
	(1) 修学旅行に関連して復興支援活動を行ったか(関東地区)	
VI	まとめ	23

I 調査研究のねらい

修学旅行は特別活動の学校行事『旅行・集団宿泊的行事』に位置づけられる。学習指導要領によれば特別活動の目標は「望ましい集団生活を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図り、集団や社会の一員としてより良い生活を築こうとする自主的・実践的な態度を育てるとともに、人間としての生き方について自覚を深め、自己を生かす能力を養う」とある。

また、旅行・集団宿泊的行事の内容は、「平素と異なる生活環境にあつて、見聞を広め、自然や文化などに親しむとともに、集団生活のあり方や公衆道徳などについて望ましい体験を積むことができるような活動を行うこと」とある。

特別活動の目標達成にあたっては、ねらいや育てたい資質・能力を明確にし、体験活動を充実させていくこと、各教科等との関連を図った指導を実践することとしている。

子供の現状から考え、知識技能を実生活の場でいかに活用するかという課題に向けて、修学旅行の果たす役割は大きいものがある。

「感性をはぐくむ修学旅行」というテーマの実現に向けて、今年度は修学旅行と学習の関係について調査研究をすることとした。

①修学旅行を企画する上で学校として最も重視したことは何か

②事前・事後指導(学習)がどのように行われているのか

そして、事前・事後学習の課題と思われることについて調査する。

継続調査として、実施時期や実施方面、費用などについて調査する。今年度は5年ぶりに体験学習の実施状況についても調査することとした。

この中で浮かび上がってきたものは、知識技能を活用するための実践力に於いての課題である。実践の場として、また、生徒の興味関心の高い修学旅行に於いてもなかなか、主体的な取り組みが難しいということがわかった。

事前・事後指導(学習)を通して、生徒の興味関心を更に引き出して行こうとする学校の試みが感じられる。しかし、一朝一夕に主体性がはぐくまれるものでもなく、試行錯誤が続く。

修学旅行の訪問地については関東地区、東海地区、近畿地区それぞれの大きな特徴が見られた。関東からは関西方面へ、日本の伝統文化に触れる目的で、東海地区からは関東方面へ平和学習と職場体験学習を目的として、近畿地区からは沖縄方面と関東方面、九州方面、北陸信州方面と多方面へ平和学習や自然スポーツ体験学習、生活文化体験(農家体験)学習を目的として実施している。

飛行機利用が多いのも近畿地区の特徴と言える(詳しくは4ページを参照)。

修学旅行費用については体験学習の費用や、学校からの目的地までの利用交通費用等により若干の差が見られる。

数年前に比べて、体験学習への取り組み方にも工夫や改善の跡が見られた。現地ならではの体験学習や地域の方たちにいかに触れあうかを工夫した体験が多く見られるようになってきている。

II 調査状況(平成25年度修学旅行の実施状況調査)

1 調査対象

関東5県(茨城・栃木・群馬・埼玉・千葉)の公立中学校
 東海3県(愛知・三重・岐阜)の公立中学校
 但し、愛知県は県中学校長会調査データを使用
 近畿2府4県(滋賀・京都・奈良・大阪・兵庫・和歌山)の公立中学校

2 調査の時期

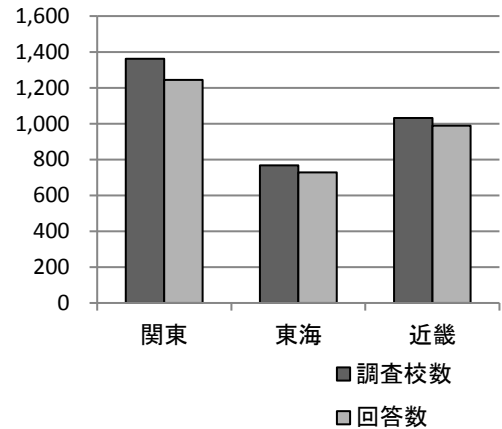
平成25年7月～11月

3 調査内容

- (1) 平成25年度実施(調査以降の予定を含む)の修学旅行の概況
 時期・日数・旅行方面・宿泊地・旅行費用
- (2) 修学旅行での体験学習について
- (3) 修学旅行の行き先変更状況について
- (4) 学びの集大成を図る修学旅行の取り組みについて

4 回答状況

	関東	東海	近畿	合計
調査校数	1,361	768	1,032	3,161
回答数	1,244	728	988	2,960
回答率	91.4%	94.8%	95.7%	93.6%



関東地区

	茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉	合計
調査校数	231	160	168	419	383	1,361
回答数	127	160	156	419	382	1,244
回答率	55.0%	100%	92.9%	100%	99.7%	91.4%

東海地区

	三重	岐阜	愛知	合計
調査校数	165	189	414	768
回答数	159	156	413	728
回答率	96.4%	82.5%	99.8%	94.8%

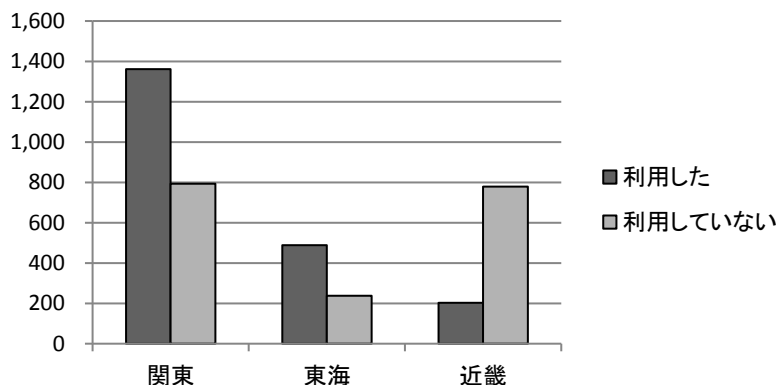
近畿地区

	滋賀	京都	奈良	大阪	兵庫	和歌山	合計
調査校数	101	99	106	333	263	130	1,032
回答数	100	98	104	332	263	91	988
回答率	99.0%	99.0%	98.1%	99.7%	100%	70.0%	95.7%

連合体を利用していますか

	関東	東海	近畿	合計
利用した	1,361	489	203	2,053
利用していない	793	237	779	1,809
利用率	63.2%	67.4%	20.7%	53.2%

・連合体の利用は全体で約53%
 近畿地区は方面や利用交通機関
 が他の2地区とは異なり多方面になる。
 利用率の低い要因となる。

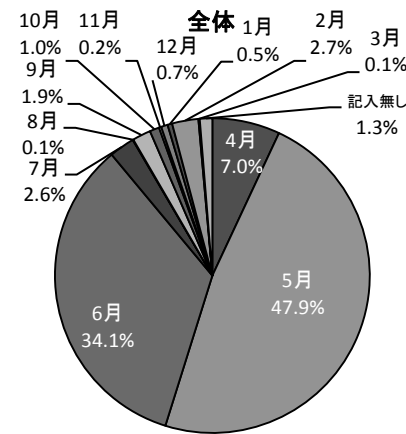
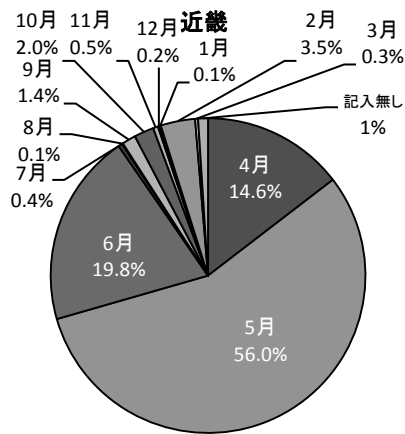
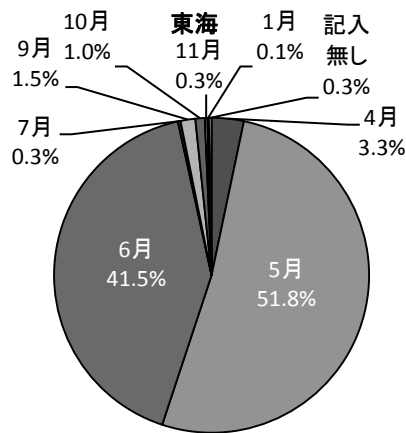
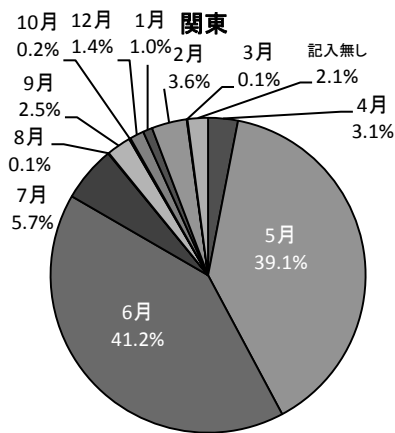


Ⅲ 実施概況

1 実施時期

	校				
	関東	東海	近畿	合計	割合
4月	38	24	144	206	7.0%
5月	487	377	553	1,417	47.9%
6月	512	302	196	1,010	34.1%
7月	71	2	4	77	2.6%
8月	1		1	2	0.1%
9月	31	11	14	56	1.9%
10月	2	7	20	29	1.0%
11月		2	5	7	0.2%
12月	18		2	20	0.7%
1月	12	1	1	14	0.5%
2月	45		35	80	2.7%
3月	1		3	4	0.1%
記入無し	26	2	10	38	1.3%

- ・実施時期(5～6月)の傾向
(22年)(23年)(24年)(25年)
82%⇒79%⇒83%⇒82%
23年度は減少したが、24年、25年は22年度と同様に戻る。
- ・(9～10月実施校)
(23年)(24年)(25年)
144校 ⇒81校 ⇒ 85校
23年度は東日本大震災の影響で9～10月実施が増え、24年度、25年度は80校強となる。
- ・2月実施校は関東東地区45校、近畿地区35校となっている。これらは2年学年に於いて実施している。(スキー修学旅行もある。)



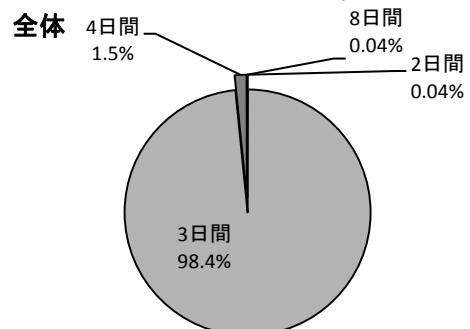
2 実施日数

	校				
	関東	東海	近畿	合計	割合
2日間	1			1	0.0%
3日間	1,214	310	954	2,478	98.4%
4日間	2	3	34	39	1.5%
8日間	1			1	0.0%

愛知除く

*8日間：海外ホームステイ

- ・実施日数は3日間で圧倒的に多く98.4%となっている。



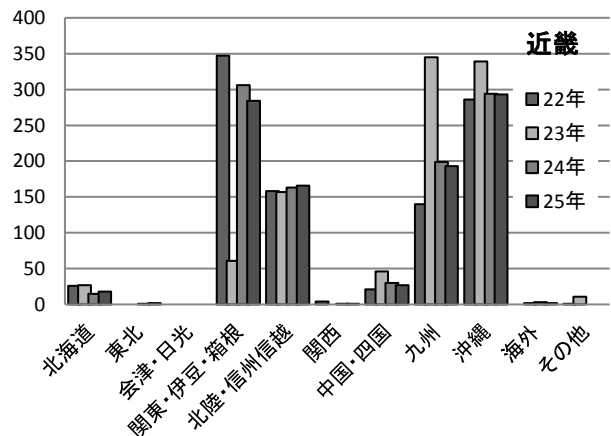
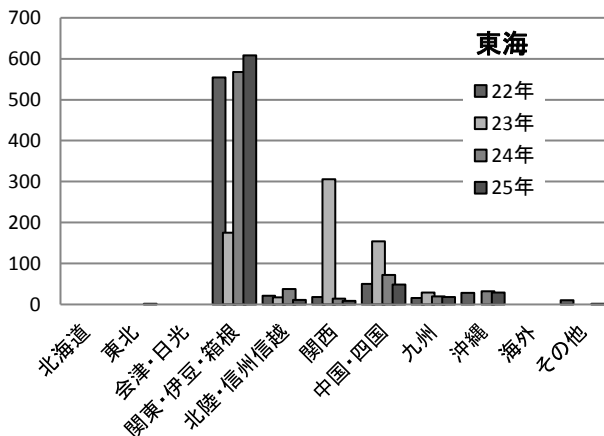
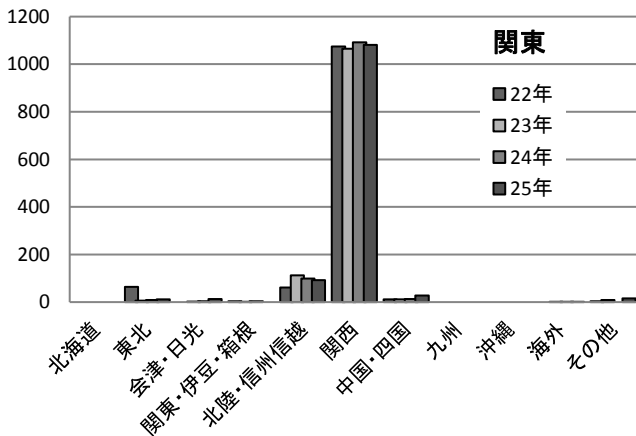
3 実施方面

(平成24年度)

	校				
	関東	東海	近畿	合計	割合
北海道			15	15	0.5%
東北	9		1	10	0.3%
会津・日光	4			4	0.1%
関東・伊豆・箱根	3	568	306	877	29.5%
北陸・信州信越	99	38	163	300	10.1%
関西	1,092	14	1	1,107	37.2%
中国・四国	13	72	30	115	3.9%
九州		20	199	219	7.4%
沖縄		32	294	326	11.0%
海外	1		3	4	0.1%
その他				0	0.0%
合計	1,221	744	1,012	2,977	100.0%

(平成25年度)

	校				
	関東	東海	近畿	合計	割合
北海道			18	18	0.6%
東北	11	2	2	15	0.5%
会津・日光	13			13	0.4%
関東・伊豆・箱根		608	284	892	30.2%
北陸・信州信越	92	11	166	269	9.1%
関西	1,081	9	1	1,091	36.9%
中国・四国	28	49	27	104	3.5%
九州		18	193	211	7.1%
沖縄		29	293	322	10.9%
海外	1		2	3	0.1%
その他	16	2		18	0.6%
合計	1,242	728	986	2,956	100.0%



(関東地区)

関東地区は90%が関西(含む広島)方面へ
(23年) (24年) (25年)
89.4%⇒ 90.0%⇒ 89.4%

東北・会津日光・信州方面の変動

(22年)(23年)(24年)(25年)

東北) 21校⇒ 6校⇒ 9校⇒ 11校

会津・日光) 43校⇒ 2校⇒ 4校⇒ 13校

信州) 60校⇒ 107校⇒ 97校⇒ 88校

*東日本大震災後、急減した東北方面が24年、25年と増えつつある。23年に急増した信州は徐々に減少しつつある。

(東海地区)

関東・中国四国・関西方面の変動

(22年)(23年)(24年)(25年)

関東) 554校⇒175校⇒568校⇒ 608校

中国四国) 50校⇒154校⇒ 72校⇒ 49校

関西) 18校⇒306校⇒ 14校⇒ 9校

沖縄) 28校⇒ 0校⇒ 32校⇒ 29校

23年の東日本大震災後に激減した関東方面が24、25年度と急増傾向にある。

中国四国方面は22年度とほぼ同じ校数に戻った。24年度から沖縄へ約30校程実施している。

(近畿地区)

沖縄、関東、九州、北陸信州方面の変動

(22年)(23年)(24年)(25年)

関東) 347校⇒ 61校⇒306校⇒284校

中国四国) 21校⇒ 46校⇒ 30校⇒ 27校

九州) 140校⇒345校⇒199校⇒193校

沖縄) 286校⇒399校⇒294校⇒293校

東日本大震災後に関東が激減して中四国、九州、沖縄が増したが、24、25年度は22年度の状況に戻っている。

但し、関東・中四国は若干の減少傾向が見られる。九州方面が増加傾向にある。

4 訪問地(県)(複数回答) 校

	関東	東海	近畿	合計	割合
北海道			17	17	0.4%
青森県	4			4	0.1%
岩手県	3			3	0.1%
宮城県	1	1	1	3	0.1%
山形県	5	1		6	0.1%
福島県	12		1	13	0.3%
栃木県	10	19		29	0.6%
千葉県		83	87	170	3.7%
東京都	4	549	152	705	15.4%
神奈川県		141	4	145	3.2%
新潟県	4		3	7	0.2%
長野県	88	15	146	249	5.4%
山梨県		119	40	159	3.5%
静岡県		58		58	1.3%
岐阜県	15		13	28	0.6%
富山県		1	3	4	0.1%
石川県		1	1	2	0.0%
福井県		1		1	0.0%
滋賀県	8			8	0.2%
和歌山県		2	1	3	0.1%
京都府	1,110	1		1,111	24.3%
大阪府	52	24		76	1.7%
兵庫県	11	19		30	0.7%
奈良県	1,073	2		1,075	23.5%
広島県	28	48	7	83	1.8%
山口県			3	3	0.1%
岡山県		8	1	9	0.2%
島根県			11	11	0.2%
愛媛県			1	1	0.0%
高知県			4	4	0.1%
福岡県		2	2	4	0.1%
長崎県		18	151	169	3.7%
大分県			1	1	0.0%
佐賀県		1	2	3	0.1%
熊本県			10	10	0.2%
鹿児島県			24	24	0.5%
沖縄県		29	291	320	7.0%
海外	1			1	0.0%
記入無し等	20	4	-	24	0.5%
合計(延校数)	2,449	1,147	977	4,573	100%

愛知除く

※割合は全回答数4,573校に対する値

※東海・近畿地区は1泊目の宿泊地

・関東地区に於いては
訪問地は京都・奈良が圧倒的に多い。
・方面別にみると、千葉県が信州方面で農家民泊や
農家体験をしている学校がある。

・東海地区に於いては
東京方面が多く、これに神奈川、山梨、千葉が続く。関
東地区以外に、静岡や広島、沖縄が続く。

・近畿地区に於いては
沖縄方面が最も多く、次に、東京、長崎、長野と続く。
東北方面にも19校が実施している。

4 宿泊地(県)(一泊目) 校

	関東	東海	近畿	合計
北海道			17	17
青森県	4			4
岩手県	1			1
宮城県		1	1	2
山形県	5			5
福島県	9		1	10
栃木県	4	13		17
千葉県		89	87	176
東京都		457	152	609
神奈川県		8	4	12
新潟県	4		3	7
長野県	79	2	146	227
山梨県		21	40	61
静岡県		20		20
岐阜県	9		13	22
富山県			3	3
石川県			1	1
滋賀県	26			26
和歌山県		2	1	3
京都府	1,005			1,005
大阪府	11	2		13
兵庫県	2			2
奈良県	64			64
広島県	5	48	7	60
山口県			3	3
岡山県			1	1
島根県			11	11
香川県				0
愛媛県			1	1
徳島県				0
高知県			4	4
福岡県			2	2
長崎県		18	151	169
大分県			1	1
佐賀県			2	2
熊本県			10	10
宮崎県				0
鹿児島県			24	24
沖縄県		29	291	320
詳細不明		16	11	27
合計(延校数)	1,228	726	988	2,942

(二泊目) 校

	関東	東海	近畿	合計
北海道			18	18
青森県	4			4
岩手県	2			2
宮城県			1	1
山形県	5	1		6
福島県	9		1	10
栃木県	4			4
千葉県		87	104	191
東京都		337	149	486
神奈川県		26	6	32
新潟県	3		3	6
長野県	84	14	149	247
山梨県		102	23	125
静岡県		40	1	41
岐阜県	4		12	16
富山県		1	2	3
石川県			3	3
滋賀県	29			29
和歌山県		2	1	3
京都府	1,040			1,040
大阪府	8	24		32
兵庫県	2	18		20
奈良県	22			22
広島県	12	6	4	22
山口県			2	2
岡山県		8	2	10
島根県			1	1
香川県			1	1
愛媛県			3	3
徳島県			8	8
高知県			5	5
福岡県		2	10	12
長崎県		15	132	147
大分県				0
佐賀県		1	8	9
熊本県			20	20
宮崎県			2	2
鹿児島県			20	20
沖縄県		29	292	321
詳細不明		19	5	24
合計(延校数)	1,228	732	988	2,948

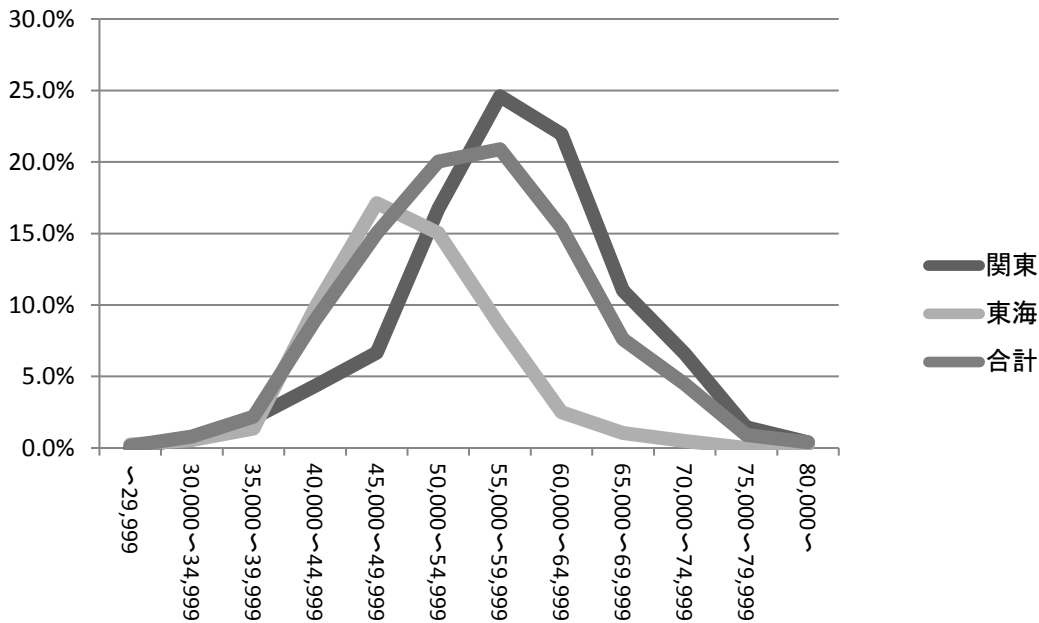
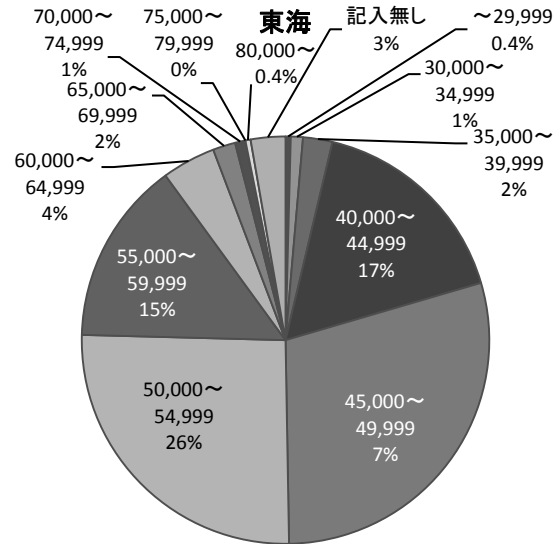
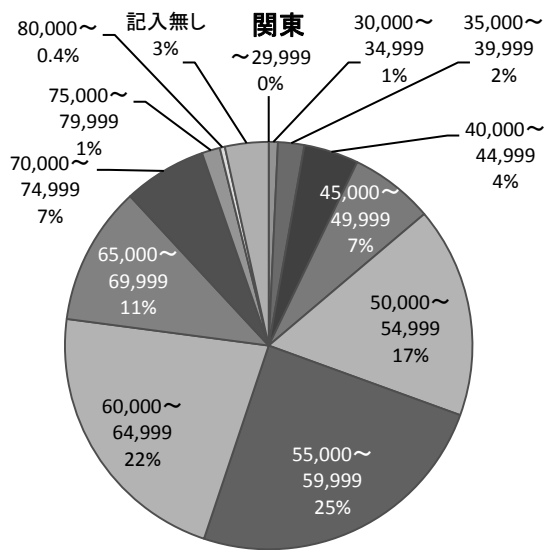
※愛知分6件多い

5 地区別旅行費用(生徒一人当たり平均額) 校

	関東	東海	近畿	合計	割合
～29,999		3		3	0.2%
30,000～34,999	9	7		16	0.8%
35,000～39,999	26	17		43	2.2%
40,000～44,999	54	122		176	8.9%
45,000～49,999	83	213		296	15.0%
50,000～54,999	208	187		395	20.0%
55,000～59,999	306	106		412	20.9%
60,000～64,999	273	31		304	15.4%
65,000～69,999	137	13		150	7.6%
70,000～74,999	82	6		88	4.5%
75,000～79,999	18			18	0.9%
80,000～	5	3		8	0.4%
記入無し	43	20		63	3.2%
合計	1,244	728		1,972	100%

- ・1人当たりの平均費用は55,000～59,999円が最も多い。
- ・関東地区の場合は55,000～54,999円が最も多い。
- ・東海(愛知県)地区では45,000～49,999円が最も多い。

※割合は全体数1,972校に対する値



6 県別体験活動費用(生徒一人当たり平均額) 校

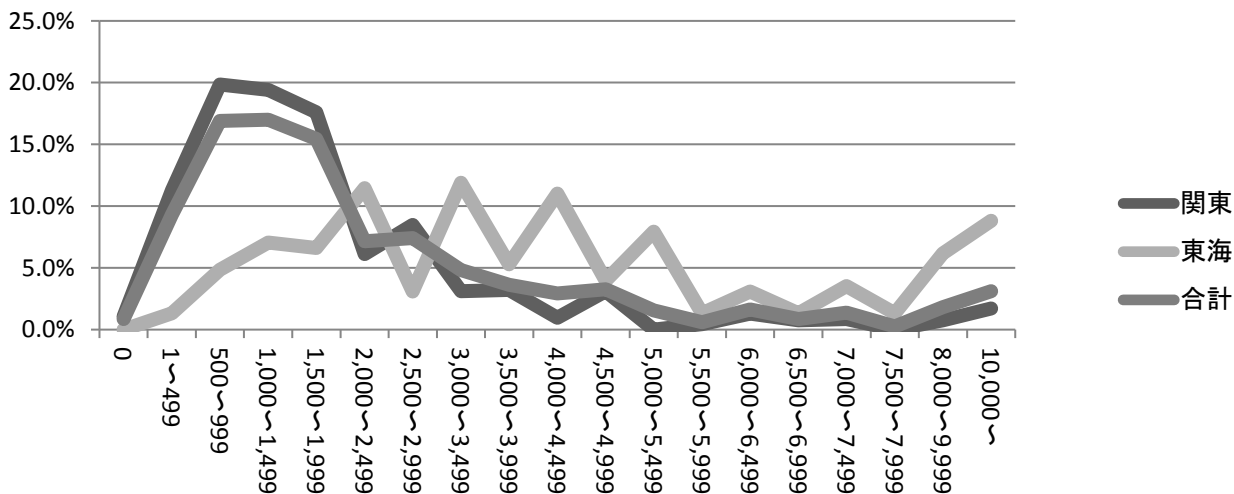
	関東	東海	近畿	合計	割合1	割合2
0	10			10	0.6%	0.9%
1~499	105	3		108	6.9%	9.3%
500~999	185	11		196	12.6%	16.9%
1,000~1,499	181	16		197	12.6%	17.0%
1,500~1,999	164	15		179	11.5%	15.4%
2,000~2,499	57	26		83	5.3%	7.2%
2,500~2,999	79	7		86	5.5%	7.4%
3,000~3,499	29	27		56	3.6%	4.8%
3,500~3,999	30	12		42	2.7%	3.6%
4,000~4,499	9	25		34	2.2%	2.9%
4,500~4,999	29	9		38	2.4%	3.3%
5,000~5,499	0	18		18	1.2%	1.6%
5,500~5,999	4	3		7	0.4%	0.6%
6,000~6,499	12	7		19	1.2%	1.6%
6,500~6,999	7	3		10	0.6%	0.9%
7,000~7,499	8	8		16	1.0%	1.4%
7,500~7,999	0	3		3	0.2%	0.3%
8,000~9,999	7	14		21	1.3%	1.8%
10,000~	16	20		36	2.3%	3.1%
記入無し	312	88		400	25.7%	
合計	1,244	315		1,559	100%	

- ・生徒一人当たりの体験費用は500~1,499円の範囲が最も多い。
- ・500~1,999円の範囲に約36.7%の学校が含まれる。
- ・記入なしの学校も多く見られた。体験活動の範囲を決めかねた学校もある。

愛知除く

※割合1は全体数1,559校に対する値

※割合2は有効回答数1,159に対する値



7 方面別費用平均(生徒一人当たり平均額)円

	関東	東海	近畿
北海道			65,424
東北	46,970		68,321
会津・日光	39,124		
関東・伊豆・箱根		57,149	59,878
信州	43,090		45,352
北陸・甲信越	61,667	40,000	
関西	59,029		44,677
広島・関西	66,297		
中国・四国		56,750	45,759
九州		62,059	59,398
沖縄		70,000	65,145
海外	350,000		146,500
その他	41,487	56,635	
記入無し	60,000		
平均	57,684	58,402	
最高額	84,286	90,000	
最低額	31,000	28,000	

※小数点以下切り捨て
 ※海外は平均から除く

「関東地区」では
 ・関西方面は59,029円となり、昨年(58,767円)より262円の増となる。
 ・広島方面は関西方面より7,268円の増である。
 ・25年度修学旅行費用平均 **57,684円**となり、昨年度の57,367円より317円の増となった。
 「近畿地区」では
 ・最も多く実施している沖縄方面が63,212円である。
 ・東京を含む関東方面は59,878円である。
 ・25年度修学旅行費用平均 **59,348円**となり、昨年度の57,375円より1,973円の増となった。
 「東海地区」では
58,402円の平均額で昨年度の58,167円より235円の増である。

	三重	岐阜
最高	90,000	83,000
最低	46,000	28,000
平均	59,836	56,968

◎三地区平均金額は**58,478円**である。

8 方面別体験費用平均(生徒一人当たり平均額)円

	関東	東海	近畿	最高額	最低額
北海道			4,799		
東北	6,500		7,613	15,000	3,000
会津・日光	5,199			18,830	1,000
関東・伊豆・箱根		4,515	6,462		
信州	4,272	12,750	13,255	15,000	300
北陸・甲信越	1,033		11,080	1,500	600
関西	1,806		12,000	18,422	0
広島・関西	1,541	2,872		10,000	0
中国・四国		6,566	9,044		
九州		2,623	4,382		
沖縄		4,910	4,251		
その他	11,625	4,445		23,050	5,000
最高額	23,050	29,000		23,050	-
最低額	1	100		-	1

※小数点以下切り捨て

・体験費用は方面により実施内容も異なるため様々である。
 ・近畿地区の場合はスポーツ体験や宿泊体験等含まれている場合がある。

(参考) 方面別旅行費用(生徒一人当たり平均額)

	関東									校 合計
	東北	会津 日光	信州	北陸	関西	広島 関西	海外	その他	記入 無し	
30,000~34,999		5	4							9
35,000~39,999	2	4	18		1			1		26
40,000~44,999	2		34		17			1		54
45,000~49,999	1	3	17		61			1	1	84
50,000~54,999	5		9		194					208
55,000~59,999		1	4		297	4				306
60,000~64,999			1		261	8			1	271
65,000~69,999				2	131	5			1	139
70,000~74,999				1	74	8				83
75,000~79,999					17	1				18
80,000~					3	1	1			5
記入無し	1		1		25	1			13	41
合計	11	13	88	3	1,081	28	1	3	16	1,244

東海(愛知除く)

校

	東京	東京 千葉	東京 横浜	関東 伊豆	信州	広島	九州	沖縄	その他	合計
～29,999									1	1
30,000～34,999									1	1
35,000～39,999										0
40,000～44,999	2	2	1	1		2			5	13
45,000～49,999	14	28	5	1	1	2			17	68
50,000～54,999	14	47	13	4		3	4	1	19	105
55,000～59,999	9	33	2			4	8	5	8	69
60,000～64,999	2	8	1			1	3	9	7	31
65,000～69,999	1						2	6	4	13
70,000～74,999								5	1	6
75,000～79,999										0
80,000～								3		3
記入無し					1				3	4
合計	42	118	22	6	2	12	17	29	66	314

未記入1校

IV 修学旅行での体験学習について

1 体験学習(直接体験)の実施について

校

	関東	東海	近畿	合計	割合
実施した	989	253	821	2,063	81.9%
実施しなかった	201	60	135	396	15.7%
記入無し	25	2	32	59	2.3%
合計	1,215	315	988	2,518	100%

愛知除く

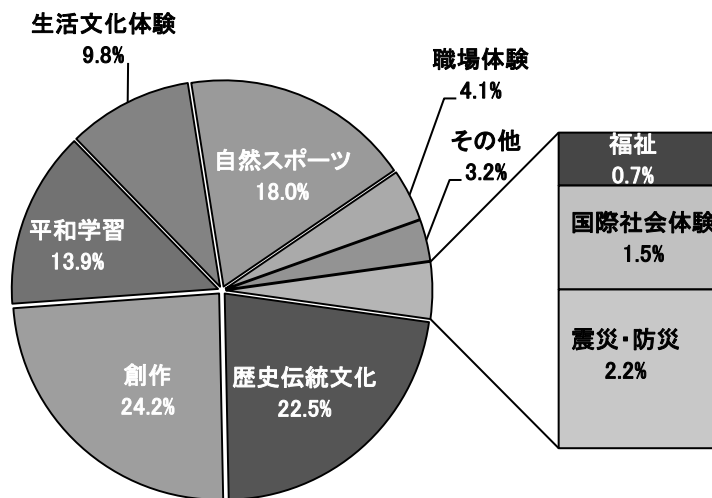
2 体験の内容について(複数回答)

校

	関東	東海	近畿	合計	割合
歴史伝統文化	545	72	229	846	22.5%
創作	602	78	230	910	24.2%
平和学習	17	114	391	522	13.9%
福祉	3	17	8	28	0.7%
生活文化体験	41	17	310	368	9.8%
国際社会体験	9	18	28	55	1.5%
自然スポーツ	72	64	541	677	18.0%
震災・防災	11	43	30	84	2.2%
職場体験	11	104	38	153	4.1%
その他	63	18	41	122	3.2%

愛知除く

※割合は全回答数3,765に対する値



その他 内容(関東)

座禅 抹茶作法
法話 座禅
着物
ディナークルーズ
テーブルマナー教室
吉本芸人の演芸会
京ことば
京都夜景
御所駅伝 絆群唱
奈良興福寺五十二段
修養体験

食文化そば打ち
大学訪問
奉仕活動
浴衣体験
旅行記作成(和製本)
歴史神社の見学や資料集め
老舗見聞学習
写経
止観(座禅)体験

その他 内容(近畿)

大学での食育講座
演劇、芸術鑑賞
国会参議院特別体験プログラム
首都東京の通信情報
東京都内班別自主研修
東証アローズ、経済セミナー
夜店体験
長崎市内でのオリエンテーリング
ふるさとPR活動
民泊体験

・体験活動を実施している学校は81.9%で5年前に調査した時とほとんど同数である。

◎体験内容は旅行方面により異なり「関東地区」の場合は京都・奈良方面で歴史伝統文化体験と創作体験が多く見られる。

◎「東海地区」の場合は平和学習と職場体験学習が最も見られる

◎「近畿地区」の場合は多方面で実施の
で内容も多岐にわたる。

自然スポーツ体験を筆頭に平和学習、生活文化体験(農家体験等)等が多く見られる。

『訪問地ならではの体験活動や、訪問地での人との触れ合いを主とした体験が多く見られる。』

『紹介したい体験』

(京都)

能や狂言、雅楽体験や鑑賞
老舗見聞学習
朝のお勤め
(仁和寺・御室会館等)

(奈良)

にぎり墨
燈火会
奈良明日香村で二日目民泊

(神戸)

人と防災未来センター
ディナークルーズ
震災体験講話

(広島)

被爆体験講話
広島の慰霊碑で合唱

＜その他紹介したいもの＞訪問地ならではのもの (京都)

狂言ワークショップ
ホテルでの型支友禅染め
雅楽と舞妓さんの踊り鑑賞
京ことば研修
芸術鑑賞(舞妓さん)和菓子作り
ギオンコーナー
護王神社での舞妓の京舞と雅楽鑑賞
止観体験 着物体験
大江能楽堂(能の体験)
大江能楽堂での狂言を鑑賞後、全体合唱を披露
金剛能楽堂
清水焼の絵付け
北野天満宮特別昇殿参拝
早朝、京都駅周辺散歩
京都テルサで4グループに分かれて体験
京都水族館見学後、魚に給餌
座禅(京都常照寺、建仁寺、妙心寺退蔵院、天龍寺、青蓮院、高台寺、御殿荘、大徳寺等)
絵付け(宿に出張してくれる)
清蓮院の抹茶体験、琴の鑑賞、扇子絵付、青蓮院門跡修養体験

漆器の加飾(旅館まで出張)
能 狂言体験
能(「能楽おもしろ講座」)
大学模擬授業
八つ橋作り
班活動で舞妓さん体験
近江能楽堂の能の説明・体験・観賞
朝のお勤め(仁和寺・御室会館等)
平安神宮での校歌奉納
友禅染(京友禅体験工房丸益西村屋)
和菓子作り
着付け体験で祇園・八坂神社・鴨川沿いを散策
舞妓さんと語る会
着付け、川下り

(奈良)

にぎり墨(奈良市 錦光園)
奈良・薬師寺での講話
奈良の燈花台
奈良明日香村で二日目民泊
薬師寺で法話、友禅染
薬師寺法話(旅館で)、清水絵付け(旅館で)

(広島)

広島での平和学習
広島の慰霊碑で合唱
広島記念資料館でガイド付き説明
広島原爆ドーム(平和教育)
平和講話、折り鶴献上
被爆体験講話
原爆詩の朗読会
被爆ピアノコンサート

(関東方面、富士、伊豆方面)

JAIC(独立行政法人国際協力機構)
TBS見学
そなエリア(国際東京臨海広域消防公園)
ディズニーアカデミー(おもてなしについてスタッフから講演と体験)
パナソニックセンター(東京でのリスピーア体験学習)
横浜市内での肉まん、餃子作り
河口湖でのカヌー体験
富士樹海、洞窟体験
早稲田商店街での地元特産品の販売体験
JAIC関西から講師を招き、講演を聴いた(行程中のユニセフ訪問のための事前学習)
東京大空襲防災センターで、ゲーム端末を使用した「防災クイズ」に挑戦しながら地震発生後の生存力育成の体験

(神戸)

神戸での震災学習等
人と防災未来センター
神戸新聞社での震災学習

(その他の地域)

職業講話(添乗員による話、仕事)
タクシーによる体験学習
ペンションでの体験学習
スキー実習
現地の中学校との交流活動
農村民泊、ラフティング
民泊体験、農業体験
琵琶湖クルーズ
ほっとステイ長和

（関東方面、富士、伊豆方面）

ディズニーアカデミー
キッザニア
ANA整備工場
防災体験（そなエリア、池袋防災館、本所防災館）
墨田江戸切子館
雷おこし作り
篠原風鈴本舗
江戸東京博物館
からくり屏風作り

第五福竜丸講話
参議院特別体験プログラム
予算委員会体験
フジテレビ仕事体験
早稲田こだわり商店街
JICA

（信州方面）

飯田市内の農家民泊と天竜川ラフティング
EXアドベンチャー（白馬）

（中国・四国方面）

カツオのたたき作り実習、シーカヤック体験（高知県須崎市観光協会）
大崎上島における民泊（84軒あり大規模校でも可能）

（九州）

資源エネルギー学習の一環として小浜温泉（長崎県）でバイナリー発電所（地熱発電）施設を見学
ペーロン体験
カステラ作り
垂水市（鹿児島県）海潟漁港での漁業体験
知覧（鹿児島県）特攻記念館

（沖縄）

イルカ触れあい体験（もとぶ元気村）
佐喜眞美術館の見学と、屋上から見る普天間基地
米軍基地周辺にある中学校とのグループ交流会
エイサー体験
ガマの戦争追体験
琉球ガラス作り
ニライカナイ体験学習施設
シュノーケリング
サメのえさやりダイビング

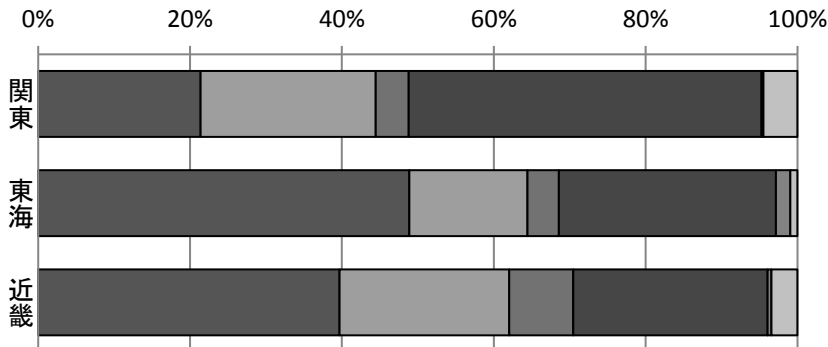
V 「学びの集大成を図る修学旅行」の取り組みについて

1 修学旅行の企画で最も重視したものは

	関東	東海	近畿	合計	割合
ア:ねらいに沿った体験	266	154	392	812	31.9%
イ:3年間を見通した計画学習	287	49	221	557	21.9%
ウ:旅行会社との連携	54	13	83	150	5.9%
エ:一人ひとりの主体性	578	90	253	921	36.2%
オ:その他	3	6	5	14	0.5%
記入無し	56	3	34	93	3.7%
合計	1,244	315	988	2,547	100%

愛知除く

※割合は全体数2,547校に対する値



・生徒が主体的に取り組めるよう自覚を持たせる----- (約36%)
 ・ねらいに沿った体験活動----- (約32%)
 ・3年間を見通した系統的、計画的学習成果の発揮 ----- (約22%)
 学びの集大成を図るべく、学校のねらいが窺える。中学生としての主体的な取り組みへの期待の大きさがでている。
 体験学習にもかつてのやることから、内容を吟味したものへの変化が見られる。

2 事前事後学習について

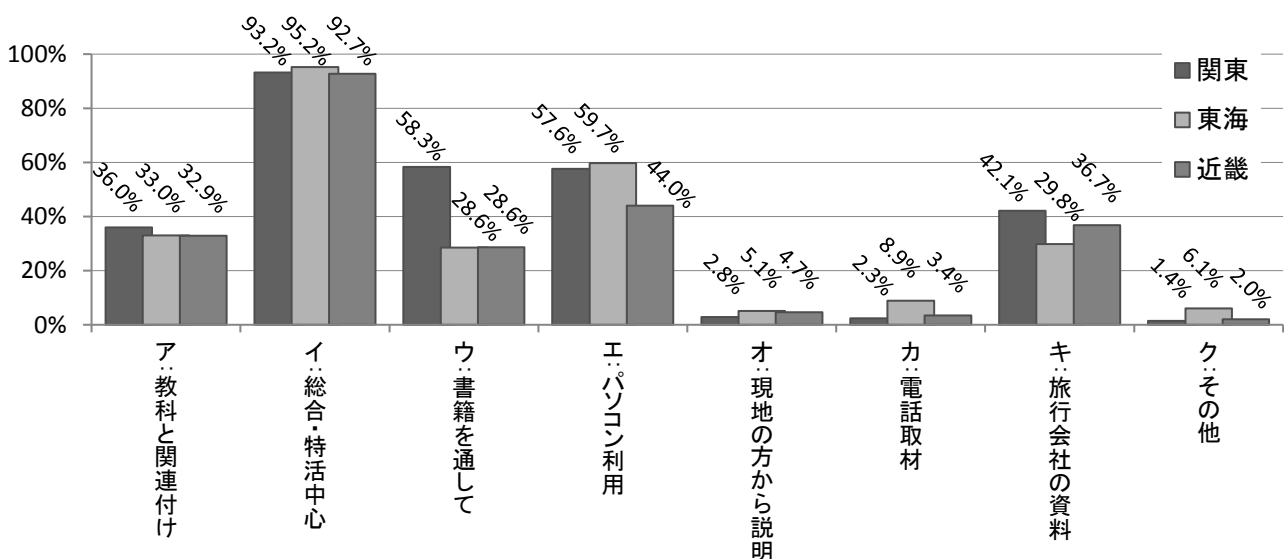
(1) 事前学習はどのように行ったか(複数回答)

	関東	東海	近畿	合計	割合1	割合2
ア:教科と関連付け	448	104	325	877	34.4%	12.7%
イ:総合・特活を中心	1,159	300	916	2,375	93.2%	34.3%
ウ:書籍を通して	725	90	283	1,098	43.1%	15.9%
エ:パソコン利用	716	188	435	1,339	52.6%	19.4%
オ:現地の方から説明	35	16	46	97	3.8%	1.4%
カ:電話取材	29	28	34	91	3.6%	1.3%
キ:旅行会社の資料	524	94	363	981	38.5%	14.2%
ク:その他	18	19	20	57	2.2%	0.8%
合計	3,654	839	2,422	6,915	-	100%

愛知除く

※割合1は全体数2,547校に対する値

※割合2は全回答数6,915に対する値



・事前学習の実施状況
 「総合的な学習の時間・特別活動の時間」を利用している学校は93%に及ぶ。

「書籍を通して、パソコンを利用して」生徒の主体的な取り組みを行っている学校が多く見られる。

「旅行会社の資料・説明」等にも大きなウェイトが置かれている。学校の事前学習に一役買っている。

「教科との関連」は877校/2,547校、約1/3の学校が実施している。教科と関連づけた事前・事後学習に

(1)事前学習はどのように行ったか
その他

DVD視聴
ガイドブック(るるぶなど)
下見報告
観光協会資料
見学地と関連のある方から話を聞く
現地の方々との手紙のやりとり
職員の事前視察

能に関する講演会
放課後
現地からの資料
冬休みの宿題
学年活動
道徳との関連
生徒が作ったしおりを使って

(2)事前学習の時間数 校

	関東	東海	近畿	合計	割合
1～5 時間	112	40	200	352	13.8%
6～10 時間	627	143	448	1,218	47.8%
11～15 時間	226	71	133	430	16.9%
16～20 時間	181	39	69	289	11.4%
21～25 時間	26	5	16	47	1.8%
26～30 時間	17	3	5	25	1.0%
31時間以上	4	2	1	7	0.3%
未定・記入無し	51	11	116	178	7.0%

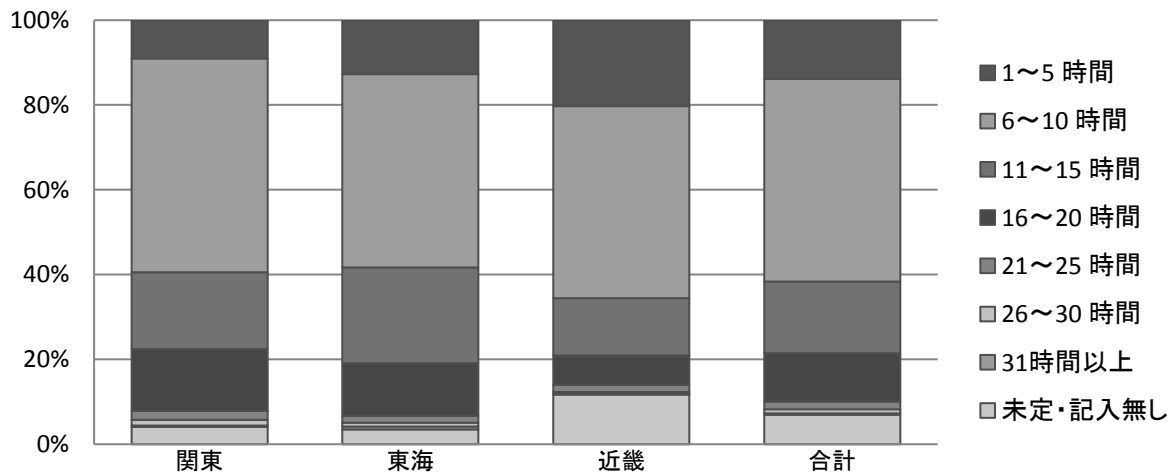
- ・事前学習の時間は6～10時間ぐらい取っている学校が最も多い。
1,218校/2,232校で約50%強を占める。
- ・6～15時間ぐらいの学校が約65%である。

愛知除く

※割合は全体数2,546校に対する値

(2)事前学習の時間数 時間

	関東	東海	近畿
最大	80	40	/
最小	2	3	
平均	11	11	



(3)事後学習はどのように行ったか(複数回答) 校

	関東	東海	近畿	合計	割合1	割合2
ア:体験内容をまとめる	1,139	279	784	2,202	86.5%	53.2%
イ:個々の評価カード等	200	32	110	342	13.4%	8.3%
ウ:発表の機会を作る	353	148	418	919	36.1%	22.2%
エ:紀行文・俳句作成	333	35	175	543	21.3%	13.1%
オ:その他	38	21	74	133	5.2%	3.2%
合計	2,063	515	1,561	4,139	-	100%

愛知除く

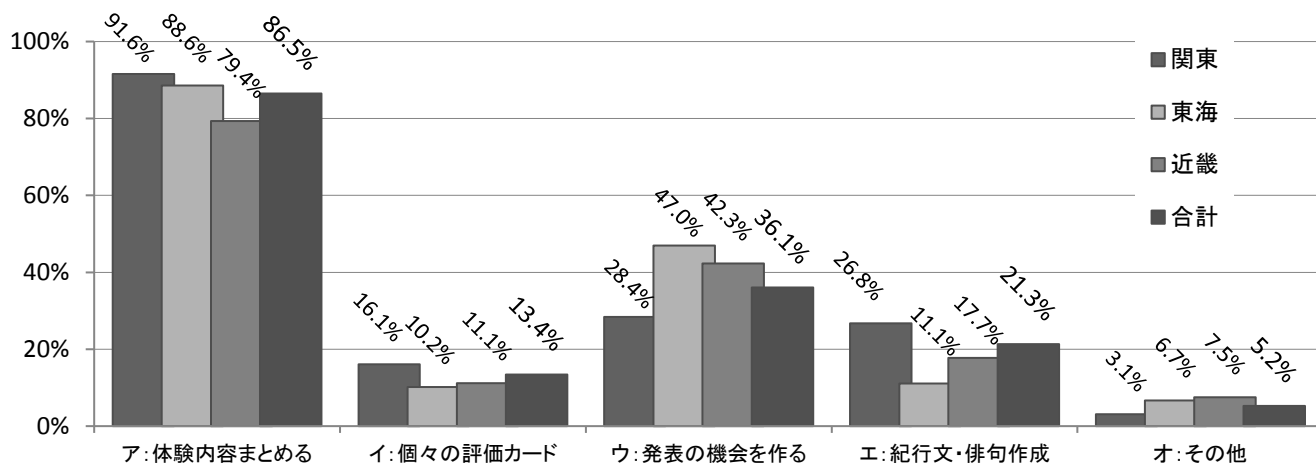
※割合1は全体数2,547校に対する値

※割合2は全回答数4,139に対する値

・事後学習で最も多く行われているのは「体験してきたものを新聞、或いはアルバム作りなどしてまとめる」というのが約87%と突出している。

・報告会や文化祭の機会を利用して発表する場面を設ける学校もある。

・紀行文・俳句作成等教科と関連付けている。



その他

作文
アンケート記入
お礼の手紙
ガイドブック作成
パワーポイントを使用してまとめる
レポート作成
英会話レポート作成

反省会
写真コンクール実施
資料を作成、2年生へ引き継ぐ
英語でまとめる
絵手紙
全員で新聞交流

(4)事後学習の時間数

(4)-1総合的な学習の時間(複数回答)

関東

	茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉	合計	割合1	割合2
1~5 時間	84	101	82	332	294	893	71.8%	76.3%
6~10 時間	34	44	45	61	68	252	20.3%	21.5%
11~15 時間	2	3	6	1	5	17	1.4%	1.5%
16~20 時間	0	5	0	1	2	8	0.6%	0.7%
未定・記入無し	7	7	23	24	13	74	5.9%	-

※割合1は全体数1,244校に対する値

※割合2は有効回答数1,170に対する値

最大20時間

・事後学習で利用した時間は「総合的な学習の時間」が

1~10時間(約92%)

「特別活動」

1~2時間(約36%)

「教科(国語・社会等)」

1~2時間(約13%)

事後学習

・修学旅行の事後学習の時間として最もよく使われているのは、「総合学習の時間」で、時間数も「教科や特別活動」の時間より多く取られている。

東海

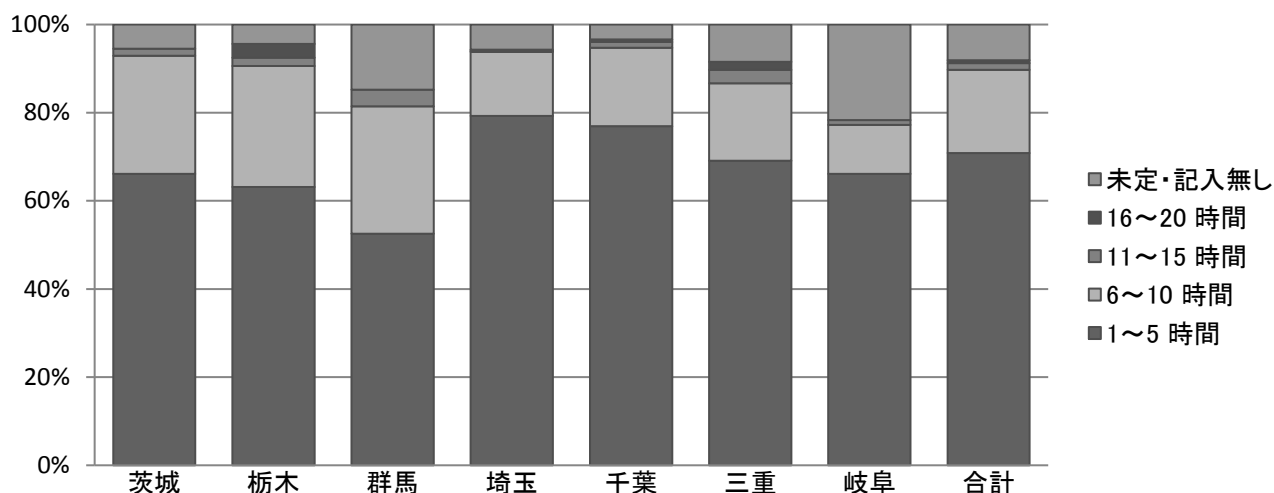
	三重	岐阜	合計	割合1	割合2
1~5 時間	114	125	50	15.9%	16.7%
6~10 時間	29	21	7	2.2%	2.3%
11~15 時間	5	2	3	1.0%	1.0%
16~20 時間	3	0	55	17.5%	18.4%
未定・記入無し	14	41	0	0.0%	-

※割合1は全体数315校に対する値

※割合2は有効回答数299に対する値

最大18時間

(総合的な学習の時間)



(4)-2教科(国語・社会等)

関東

校

	茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉	合計	割合1	割合2
1時間	18	9	10	33	38	108	8.7%	54.0%
2時間	11	5	3	15	25	59	4.7%	29.5%
3時間	3	1		5	4	13	1.0%	6.5%
4時間	1	3		1	7	12	1.0%	6.0%
5時間	1		3		2	6	0.5%	3.0%
6時間以上		2				2	0.2%	1.0%
未定・記入無し	93	140	140	336	306	1,015	81.6%	-

・事後学習「教科」は
1~2時間程度が約84%と
最も多い。

※割合1は全体数1,244校に対する値
※割合2は有効回答数200に対する値

最大6時間

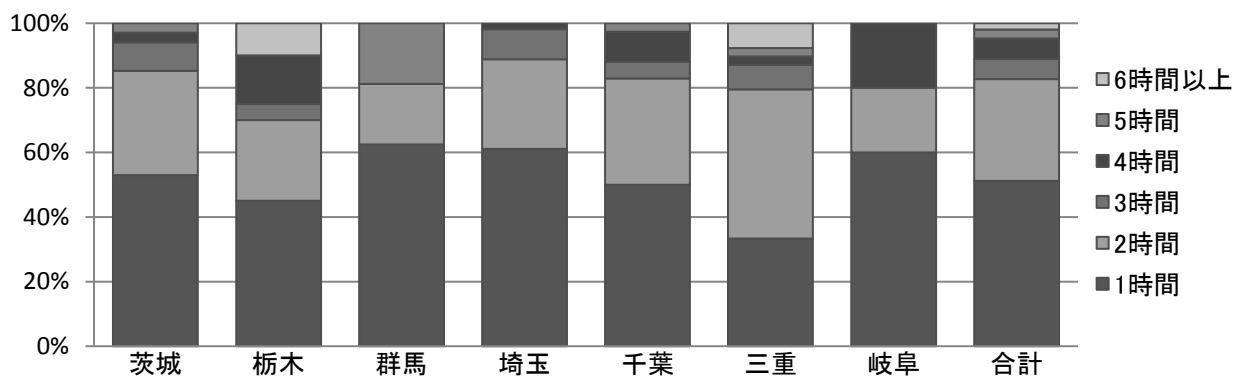
東海

校

	三重	岐阜	合計	割合1	割合2
1時間	13	9	22	7.0%	40.7%
2時間	18	3	21	6.7%	38.9%
3時間	3	0	3	1.0%	5.6%
4時間	1	3	4	1.3%	7.4%
5時間	1	0	1	0.3%	1.9%
6時間以上	3	0	3	1.0%	5.6%
未定・記入無し	121	141	262	83.2%	-

※割合1は全体数315校に対する値
※割合2は有効回答数54に対する値

最大12時間



(4)-3特別活動

関東

	校					合計	割合1	割合2
	茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉			
0時間					1	1	0.1%	0.2%
1時間	18	31	12	95	53	209	16.8%	38.9%
2時間	13	20	31	79	91	234	18.8%	43.6%
3時間	6	3	6	18	22	55	4.4%	10.2%
4時間	2	4	2	9	6	23	1.8%	4.3%
5時間	0	0	1	1	5	7	0.6%	1.3%
6時間以上	1	0	1	3	3	8	0.6%	1.5%
未定・記入無し	87	102	103	214	201	707	56.8%	-

・事後学習「特別活動」は1～2時間程度が約83%と最も多い。

※割合1は全体数1,244校に対する値

最大10時間

※割合2は有効回答数537に対する値

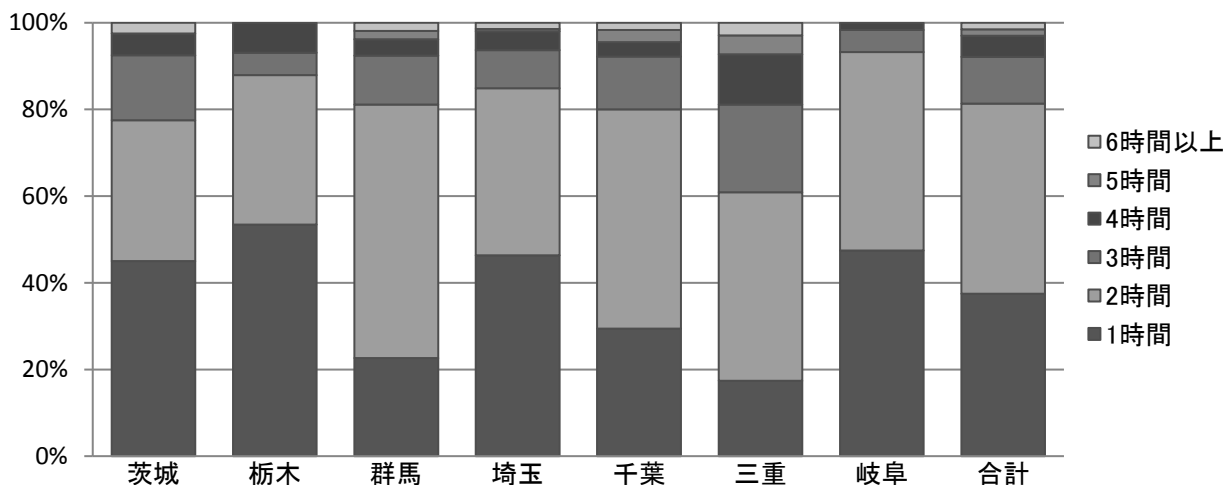
東海

	校		合計	割合1	割合2
	三重	岐阜			
1時間	12	28	40	12.7%	31.3%
2時間	30	27	57	18.1%	44.5%
3時間	14	3	17	5.4%	13.3%
4時間	8	1	9	2.9%	7.0%
5時間	3	0	3	1.0%	2.3%
6時間以上	2	0	2	0.6%	1.6%
未定・記入無し	90	97	187	59.4%	-

※割合1は全体数315校に対する値

最大8時間

※割合2は有効回答数128に対する値



(4)-4その他

校数

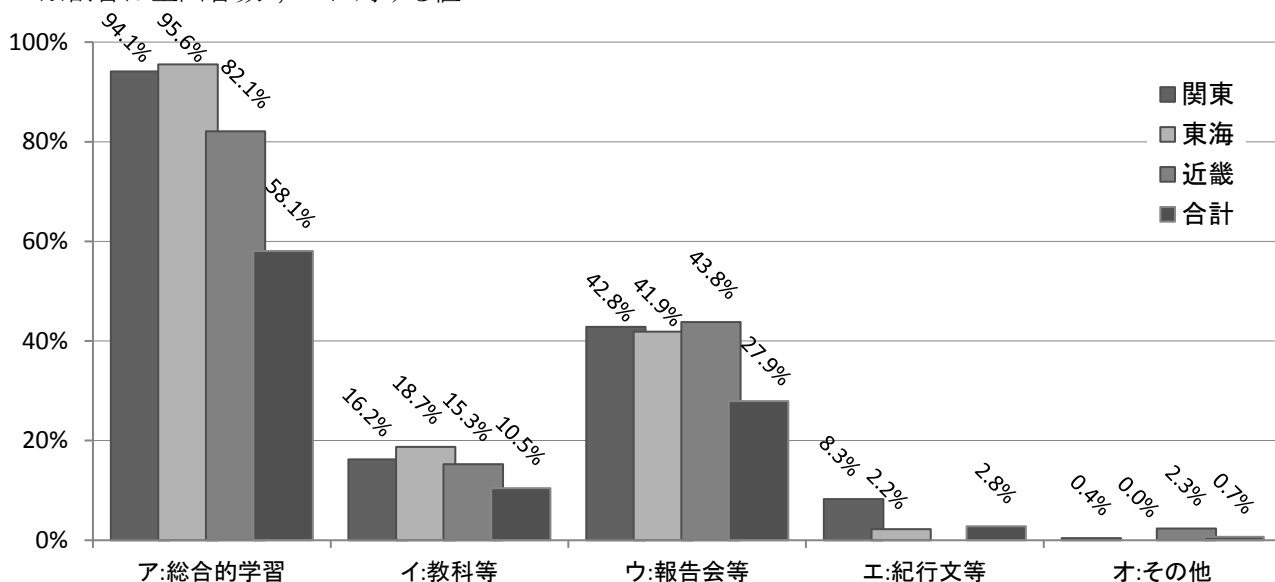
	関東	東海	近畿
家庭学習	2	-	-
学活	2	1	3
学年日課	1	-	-
集会	1	1	1
昼休み	3	-	-
放課後	5	3	8
宿題	3	1	3
道徳	-	1	6
登校日	-	-	2
生活単元	-	1	-

(4)-5事後学習実施校数 校

	関東	東海	近畿	合計	割合
ア:総合的学習	1,171	301	811	2,283	58.1%
イ:教科等	202	59	151	412	10.5%
ウ:報告会等	533	132	433	1,098	27.9%
エ:紀行文等	103	7	-	110	2.8%
オ:その他	5	0	23	28	0.7%

愛知除く

※割合は全回答数3,931に対する値



・「事後学習の時間」は総合的な学習の時間を使って行う、というのが約60%を占める。教科等の時間を使うのは約11%程にとどまってお、教科に関連付けることの難しさがある。報告会や文化祭などで全校の前で発表の機会を設けている学校も多く、プレゼン、自己表現等につながっている。

(4)-6 事後学習最大時間数 時間

	関東	東海	近畿
ア:総合的学習	20	18	/
イ:教科等	6	12	
ウ:報告会等	10	8	
エ:紀行文等	17		
オ:その他		8	

愛知除く

・「事後学習時間で最大」は総合的な学習の時間に20時間(関東)、紀行文や作文などで17時間(関東)、教科で12時間(東海)などとなっている。

(5) 今後の課題は(複数回答)

校

	関東	東海	近畿	合計	割合1	割合2
ア:事前指導不足	285	53	130	468	18.4%	15.2%
イ:ねらいが達成できない	62	19	45	126	4.9%	4.1%
ウ:安全対策が不十分	40	23	62	125	4.9%	4.1%
エ:事後指導・評価不足	146	33	138	317	12.4%	10.3%
オ:生徒の主体的な取組	908	213	749	1,870	73.4%	60.8%
カ:その他	75	31	65	171	6.7%	5.6%

愛知除く

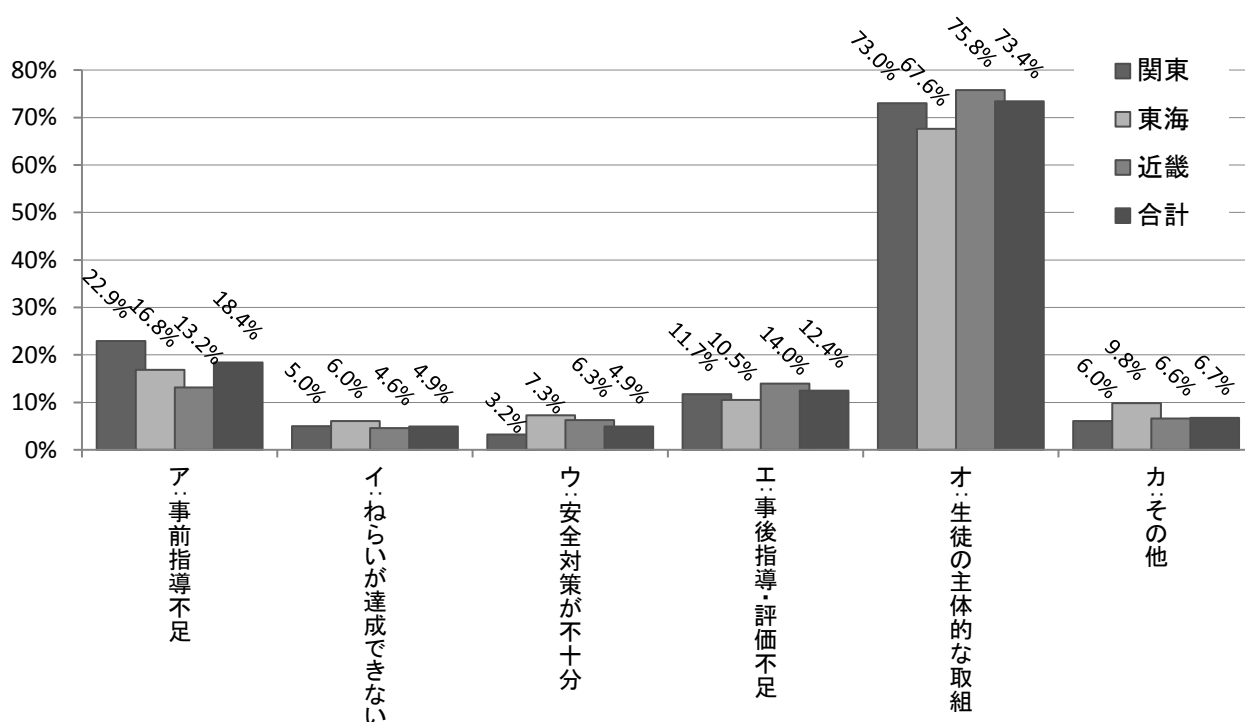
※割合1は全体数2,547校に対する値

※割合2は有効回答数3,077に対する値

・「今後の課題」として最も多かったのは
 ◎いかに生徒の主体的な取り組みとするか——(約73%)が最も多い。
 企画する上で最も重視したのも生徒の
 修学旅行への主体的な取り組みというこ
 である。
 今後の課題として圧倒的な数がしめされ
 ている。いかに生徒の主体的な取組と
 していくかは、十分検討すべきことであ
 る。

・課題の2番目、3番目に「事前指導の不
 足」と「事後指導(評価)が不十分」と挙
 げられている。これらはいずれも指導的
 立場の課題である。
 指導時間が不足しているために不十分
 であったというものと、内容的に指導不
 足となってしまったものとを分析する事
 が重要である。

・その他の中で、「修学旅行での経験を
 今後どう生かすか」、「体験プログラ
 ムの検討」、「資料の活用」、「教科とどう関
 連付けるか」等が書かれているが次年
 度に生かせることは確実に生かしてい
 きたい。



その他の具体的な内容

3年進級後の準備の時間が足りない
学年発表の時間が取れない
指導時間の確保
2年生からの積み上げ、歴史・文化
6月末実施だったため、十分時間が取れなかった
事後指導の時間の確保
事前・事後の縮減
事前・事後指導の時間の確保
事前の計画
事前指導の時間が取れない
事前指導の時間の確保
時間の確保
時間不足
時期や事後指導の時間的問題
時数の確保
時数調整
学級間での事前学習の差
年度初めの他の活動との調整
見学地をよく調べる
資料の活用・データベース化
修学旅行の準備時間をとられ、教科等の準備時間がけずられる

教員の勤務時間
教科とどう関連づけるか
リーダー育成を主眼とした若手教員育成
夏休みを挟み評価しなければならない

業者との十分な打合せ
実施2年前から業者と交渉
旅行会社変更に伴う確認
旅行業者との連携
選択の検討、業者との早めの打ち合わせ

班別活動の在り方
班別行動での見学地の検討

修学旅行の体験を次にどう生かすか
十分達成できた
活動を今後に生かし、継続させること

学校生活への結び付け
規範意識
全員参加
電車の乗り方の指導

喫煙車両による体調不良
健康面
アレルギー対策
インフルエンザ対策

広島までなので余裕がない
自校で企画実施する
本校のねらいに沿って継続していくこと
集合時間が早い
土・日の京都市内の混雑及び悪天候に対する準備不足
日程・行程が厳しかった
経費をできる限り減らすこと
体験プログラムの検討

3 被災地復興支援について

(1) 修学旅行に関連して復興支援活動(募金等)を行ったか 校

	茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉	合計	割合
支援した	1	6	5	14	13	39	3.1%
特にしていない	114	150	125	396	362	1,147	92.2%
未記入	12	4	26	9	7	58	4.7%

※割合は全回答数1,244校に対する値

支援活動の具体的な内容

「雨ニモマケズ」を1学年で群唱、修学旅行で発表
 応援Tシャツを作成し、一部を義援金とする
 現地視察と発表会
 市のボランティア活動への参加
 福島での実施
 草花を植えた
 東北に修学旅行に行ったこと
 南三陸町中へ金銭的支援
 支援金を送った
 費用の端数を支援に
 復興コンサート、募金
 募金、空き缶回収売上げを募金(20校)

- ・被災地への復興支援活動については39校が支援している、という回答であった。
 支援の内容については募金、義援金というものが多かったが、他にも復興コンサートを開催したり、応援Tシャツを作成し義援金を送ったり、宮沢賢治の詩を群唱、修学旅行で発表したり、様々な活動が見られた。
- ・復興はまだまだ道半ばという感想を耳にするが、時間と共に風化してしまうことのないよう今後とも、一層強く支援の気持ちを持ち続けることが大切である。

VI まとめ

学習指導要領によると、学校行事の内容の取扱いについて、「…。また実施に当たっては、幼児、高齢者、障害のある人々などとの触れ合い、自然体験や社会体験などの体験活動を充実するとともに、体験活動を通して気付いたことなどを振り返り、まとめたり、発表し合ったりするなどの活動を充実するよう工夫すること」等述べられている。

特に体験活動については、『その場限りの活動に終わらせることなく、事前にそのねらいや意義を生徒に十分理解させ、活動についてあらかじめ調べたり、準備したりすることにより、意欲をもって活動できるようにするとともに、事後には体験を通して感じたり気付いたりしたことを自己と対話しながら振り返り文章でまとめたり、発表しあったりする活動を重視し、他者と体験を共有して幅広い認識につなげる必要がある』となっている。

調査にあたっては、毎年継続調査をしている、[修学旅行実施概況]と[修学旅行における課題調査]という2点に絞っての調査・研究をする。

今年度の課題調査については、「学びの集大成を図る修学旅行」の取り組みについて継続調査するが、特に事前と事後学習の実施状況を調査する。

関東地区(1,244校)、東海地区(728校)、近畿地区(988校)、合計(2,960校)の学校の協力を得て調査をする。特に愛知県については愛知県小中学校校長会、修学旅行特別委員会の協力を得てまとめることができた。

今年度は体験学習の取り組みについて、具体的にどのような取り組みが行われているのか調査することとした。旅行方面によって体験内容は異なるが、どのような傾向が見られるのか、また同じ方面でも関東、近畿、東海地区の学校ではどのような特徴があるのか検証することとした。

課題調査としては、学びの集大成としての修学旅行とするために、事前学習や事後学習をどのように行っているか調査研究した。

体験学習は明らかに地域ごとによる考え方(内容)の違いが確認できた。5年前に比べ体験学習の質的な向上も見られる。

事前学習や事後学習では、5年前に比べて時間的にも5～6時間ほどの減少傾向が見られ、事後学習も以前の5時間以上の時間に対して、今年度は5時間以内と減少傾向が見られた。課題として生徒の主体的な取り組みができなかった、というのが最も多かったが、事前学習の不足、事後学習の不足と関連が少なくないと考えられる。

平成25年度研究調査報告
修学旅行の実施状況調査
修学旅行の課題調査『学びの集大成を図る修学旅行』の取り組みについて

平成26年3月
公益財団法人全国修学旅行研究協会

〒102-0074 東京都千代田区九段南2-6-8
Tel:03-5275-6651 Fax:03-5275-6653
E-mail: shuryo@h2.dion.ne.jp
URL <http://shugakuryoko.com>